令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大谷場小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	【学習上の課題】 ・国語「話すこと・聞くこと」「読むこと」 ・算数「図形」変化と関係 【指導上の課題】 基礎的・基本的な知識・技能の定着に、個人差がみられる。児童が反復・習熟に取り組む時間の確保が不十分である。	⇒ ・算数では、ITを効果的に取り入れて指導を行ったり、各児童の学習理解度に合わせた学習を行ったりする等、個別最適な学びが行えるような環境を整える。 【単元に1回以上】 ・「ドリルパーク」等個別に蓄積されたデータを効果的に活用しながら、漢字や基本的な計算等の反復・習熟に取り組めるようにする。【週に2度】 ・1人1台端末を活用し、学びのポイント「じ・しゃ・く」を意識した児童主体の授業を行う。【毎日】
思考・判断・表現	【学習上の課題】 ・国語「書くこと」「読むこと」 ・算数「図形」変化と関係 【指導上の課題】 自分の考えをまとめたり、進んで発信したりすることに意欲的でない場面がみられる。子どもたちが安心して、主体的に活動できる環境を整えることに関して不十分である。	⇒ ・協働的な活動を通して、相手意識をもって適切な表現で考えを書き表し、自信をもって相手に伝えられるような機会を多く取り入れた授業を実践していく。【毎日】 ・児童一人ひとりが、自分の頑張りを素直に認め、他者の頑張りを見つけて認め合える授業を展開していく。【全教員による教育実践の実施】 ・読解向上のために、読書活動の充実を図る。【朝読書の複数回実施】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)